

小浜市議会 議会報告会 実施報告書

日 時	令和4年5月29日(日)		
会場/地区	働く婦人の家		
出席議員	全議員 (17名)		
参加者(市民)	53名		
報告事項	(司会) 竹本 雅之 (定例会報告) 風呂 繁昭 (記録) 坂上 和代		
報告会における市民からの意見・要望内容	質問	「まちの駅のさらなる活性化」の説明文中の「小浜縦貫線開通後の新たなにぎわい創出に向け施設の環境整備を行い」ということについて具体的な考えを持っているのか。	【今後の対応】 当日の回答どおり
	回答	小浜縦貫線の開通により鯖街道を起点としたまちづくりを進め、にぎわいの創出を図るもの。まちの駅の備品等については、駅通りの皆様方のご協力もいただきながらまちの活性化につなげていきたいとの市の考えを聞いている。	
	質問	令和3年10月19日に北陸新幹線早期全線開業特別委員会が敦賀車両基地と敦賀新駅舎を視察しているが、その目的は。	当日の回答どおり
	回答	北陸新幹線の早期全線開業を目指している中で、鉄道・運輸機構等から話を聞き、今後の小浜市のまちづくりと駅周辺のまちづくりの参考にするため研修をした。	
	質問	産業教育常任委員会の所管事務調査で「まちづくりの揺るぎないコンセプトを定めること」など3点を提案しているが、土地利用に関するアイデアはあるか。	当日の回答どおり
	回答	土地利用に関しては、ほとんどが先祖代々続く農地であり、今後これをどのように生かしていけばよいのかということ、先進地である越前市を視察し提案としてまとめた。特に重要なのは、地域の皆さんと共に、また地権者の声を聴きながら事前に準備を進めていくこと。そして、着工後も意見を聴きながら進めていくということである。	
	質問	ここ数年、福祉関係の予算が削減されているが、議会は今の小浜市の財政をどう捉えているのか。	当日の回答どおり
	回答	進展する少子高齢化の中で社会保障に対する不安はもっともで	

	あり、今、行政として喫緊の課題である。	
質問	<p>少子高齢化が進み、歳入の減少が見込まれる中、多額の整備費用がかかる新幹線を整備して大丈夫か。富山県高岡市が新幹線新駅の駅前整備に多額のお金を使い財政再建団体に転落しかかったと聞いているが、小浜市の財政を裏付けるものは。</p>	
回答	<p>新幹線は、大阪までつながっての北陸新幹線であり、東京・大阪間がつながることによって大きな経済効果が生まれることから、全線開業は国の予定では 2045 年だが、市と議会は早期開業に向けての運動に注力している。小浜市が高岡市と違うところは、京都まで 1 区間 19 分で行くことにより多くの希望や夢を見いだせる点である。医師不足に関しても京都在住の医師が通勤できる。京都への通勤・通学も可能となり、京都から小浜に大きな会社も来るということが実現可能となる。</p> <p>市の財政は、貯金が約 15 億円、借金が約 150 億円であり厳しい状況だが、これから新幹線駅の建設など多額の費用が必要になってくるため、市も財政調整基金を増やしていく努力をしている。我々も知恵を出しながら財源を確保していくことが重要と考えている。</p>	当日の回答どおり
質問	二元代表制とはどういうものか。	
回答	<p>二元代表制とは市長も議会（議員）も市民が選ぶということ。市長は執行権を持っており、予算を基に市政を運営し、議会は市長の執行権に対して監視をする。このように市民から選ばれた市長と議会が協力して市政を担っていくのが二元代表制である。</p>	当日の回答どおり
質問	二元代表制の下、市長と議会が両輪となって諸問題に取り組むことが大事だが、本市は消滅可能性都市リストに入っている中、人口減少と J R 小浜線の減便問題に議会としてどのように取り組んできたか。	
回答	<p>少子化、女性の社会進出等により人口減少が始まっている。市も人口定着に向けて様々な施策を行っており、議会もそのための予算に賛同し共に取り組んでいる。小浜線の減便問題については、関係行政庁へ意見書を提出するとともに、舞鶴市から敦賀市までのすべての議会からも意見書を出していただいた。そのほか J R や国に対しても要望している。市は乗る運動の P R</p>	当日の回答どおり

	<p>質問</p> <p>回答</p>	<p>活動もしており、議会も一緒になって取り組んでいく。 JR小浜線は市民生活に関する事で非常に重要であるため、 昨年の9月議会で「JR小浜線の維持・活性化を求める決議」 を議決し、JR西日本金沢支社に直接申し入れをした。</p> <p>人口が減り始めて長年たつが、議会から市民に対して企画・立 案したものを見たことも聞いたこともない。議会でこういうこ とをやるから行政もついて来い、という形で積極的に取り組ん でいく意欲はないか。</p> <p>議会は執行機関ではない。議会の役割としては市民の声を受け 止め、合議体の中でどのように活動していくか、また執行機関 に対してどのように意見するかである。一人一人の声を聴くこ の議会報告会も市民の声を受け止める一つの方法と捉えていた だきたい。</p>	<p>当日の回答どおり</p>
--	---------------------	---	-----------------

令和4年8月18日 小浜市議会議長 小澤長純 様

小浜市議会 議会報告会 実施報告書

日 時	令和4年5月29日(日)		
会場/地区	働く婦人の家		
出席議員	全議員 (17名)		
参加者(市民)	53名		
報告事項	(司会) 竹本 雅之 (議員定数について) 今井 伸治 (記録) 坂上 和代		
報告会における市民からの意見・要望内容	質問	論点説明を聞く限り、議員定数の削減はしたくないということか。地域では、議員定数を減らすのに反対という意見はなかったが、それは見えない議会をどう見せるかの工夫が足りないためであり、市民に納得してもらうことは難しい。しかし、極端に減らしすぎて政権支配(独裁)になることは避けたい。議案提案の権利はあるのに行使していないことが議員に対する不信や不満につながっているのではないか。	
	回答	議員が見えないというのは議員の資質の問題であり、それと議員定数が少なくてもよいということとは違う話である。議員定数を減らせば当然議会力は弱くなるため、予算の制約等がなければ多いほうがよい。定数削減をしたくないのではなく、議会で議論したことを報告したものであり、今後、意見交換会や政策討論会を実施して決めていきたい。市も限られた予算の中で一生懸命やっていることから、議会としても市民のための政策を考えなければいけないことは重々承知している。そのために議会報告会で皆さんからの意見を吸い上げ、政策討論会を経て、市長に提案するというのが健全な議会である。	
	意見	提案として車に「移動議会報告会」や「市政の宅配便」という表示をして各集落を回って話してはどうか。選挙のときだけではなく年に何回足を運んでもよいと思う。直接顔を見せるなど活動を変えないと同じことの繰り返しになる。 女性議員を定数の半分、男性議員を半分というような法律(条例)など予算を伴わない提案はできるので、それが新聞やテレビで紹介されれば見えてくると思う。	
	質問	議員定数については、年内に結論を出さないと間に合わない。意見交換会など、具体的なスケジュールは決まっているか。	
	回答	市民の皆さんから広く意見を求めるため、本日、議会報告会を	
			【今後の対応】
			当日の回答どおり
			当日の回答どおり

	<p>開催した。意見交換については今から決めるが、6月～9月の間で1回は実施したいと考えている。</p> <p>質問 区長連合会は経済的な問題だけで定数削減を求めていると思っ ておらず、定数削減にこだわるべきではない。ポイントは論点 ⑤の有識者の意見であり、政策立案機能、監視機能を果たせて いるかの議論を尊重すべきと考える。全計画の中核が総合計画 なら第5次総合計画の総括が必要ではないか。行政は計画を作 ることが目的となっており、法律が求めている本来の目的を見 失っている。パブリックコメントを出しても採用されず、回答 も「今後の参考にさせていただく」というコメントが多い。あ らゆる計画が議会で承認されているが、チェック機能は働いて いるのか。</p> <p>議会の会議録を読むと良い一般質問をしている議員も多い。と ころが、市の答弁は「こう考えている」「検討していく」で終わ っており、それに対して、いつ結論が出るのか、どのように検 討していくのかといった議員からの再質問がない。ある議員の 一般質問に対して、市は「検討していく」との答弁であったの で、担当者にその改善策を尋ねたが「知らない」という返答で あった。</p> <p>質問も答弁もしっ放しであり、これでは市政は全く良くならな い。質問した内容で大事なことはフォローしていただき、チェ ック機能が果たしているかを検証してほしい。また、特に新し い計画の審議は慎重にお願いしたい。</p> <p>回答 議会では、一般質問だけではなく委員会でも追及やチェックを している。一般質問はチャンネルOで視聴でき、議場傍聴席で も数名が傍聴している。最近では委員会への傍聴もあり、市民の 皆さんに関心を持っていただいている。</p> <p>議会のチェック機能について、ご指摘のことは十分考えている。 理事者に対して言うべきことを言い、チェックするためにも議 員数、多様な意見は必要だということを理解していただくため に、そのような議論があったことを報告したものである。</p> <p>質問 チェックのパワーが足りないのであれば、議員定数削減にはこ だわらず、定数を増やし効果を出せばよい。一般質問の答弁が 実行に移されているのか、フォローをお願いしたい。</p> <p>回答 今後は、ご意見を加味して活動していきたい。 先ほど総合計画の話があったが、第6次総合計画では全議員で</p>	<p>当日の回答どおり</p> <p>当日の回答どおり</p>
--	--	---------------------------------

		<p>構成する特別委員会を設置した。理事者が作成した計画案のチェックのみならず、特別委員会で踏み込んだ議論を行い、計画へ意見を反映した。</p> <p>皆さんは議員活動が見えないと言っている。見えないから論点⑩議会活動に必要な適正な人数で、定数が18人必要だと理解するのが難しいと考えている。論点①の人口の問題。人口と定数とは関係ないが、人口減少に対して議会はどうか発信してきたのか。発信すれば何をしているか見えるが発信しないから見えない。執行権は市長が握っているが、意見を言うことはできる。平成30年12月の小浜市議会の議員定数、議員報酬に関する検討結果報告書を確認したが、いつ、何を、どれだけの期間をかけ、どういう議論がなされたのか見えない。それで「分かってください」というのは無理がある。</p> <p>論点⑩女性・若者の政治参加について、女性議員を増やすべき。クオータ制をとり女性を議員定数の3分の1以上を占めるようにしてはどうか。定数は減らしてもいい。そうしない限り比率は変わらない。女性に「出てください」という雰囲気をつくっていくためにも、そういう制度を設けるべきでは。</p>	
質問			
回答		<p>議員の資質の程度と定数の問題は違う。政治活動と議員活動も違うものであり、それらを混同するとややこしくなる。議員の一定数を女性に割り当てる制度の是非は、非常に難しい問題である。日本はまだまだ男性社会で、女性が出にくいところはあるが、女性の活躍を望むとともに、男性と女性の数が逆転するのもよいことだと考えている。</p>	当日の回答どおり
意見		<p>二元代表制をどのように理解し、今後どう生かしていくのかということや、市議会議員として取り組んでいく姿勢を文字に表したものをチラシとして各戸配布できないか。</p> <p>有権者の一人として、耳で聞くよりも文字で書いたものを見て、正しい判断をもって市議会議員を選出したいと考えている。</p>	選挙公報を見て判断していただきたい

令和4年8月18日 小浜市議会議長 小澤長純 様